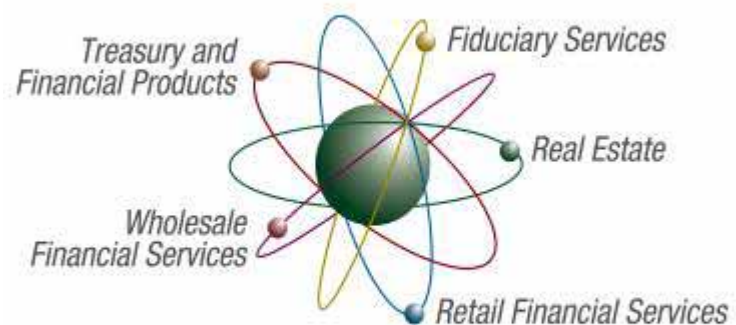


***The Sumitomo Trust &  
Banking Co., Ltd.***



住友信託銀行 (証券コード:8403)

平成20年2月12日

信託世代の、  
住友信託銀行

## 本日本お伝えしたい内容

---

- **ビジネスモデル**
- **業務内容**
- **M & A・提携戦略**
- **収益状況**
- **株主還元策**

## 住友信託銀行の概要(平成19年9月末現在)

- ▶ 設立 1925年(大正14年)
- ▶ 資本金 2,875億円
- ▶ 発行済株式数 普通株式:16億7千万株 優先株式:無し
- ▶ 単元株数 1,000株
- ▶ 自己資本比率 11.80%
- ▶ 従業員数 5,702人
- ▶ 拠点数 国内60ヶ所 海外8ヶ所
- ▶ 関係会社数 連結子会社36社 関連会社7社
- ▶ 個人株主比率 7.0%(外国人株主比率38.0%)  
(参考)平成19年3月末 個人5.2%、外国人38.6%

## 住友信託銀行のビジネスモデル

経営モデル: 「銀行・信託・不動産兼営」の特長を活かした持続的成長

個人のお客様とともに歩む  
「資産運用・資産管理のメインバンク」

法人・機関投資家の皆様に価値を提供する  
「戦略的パートナー」

基本方針: 「信託らしさ」「住信ならではの」への徹底的な拘り

「信託らしさ」

- ▶ 受託者精神
- ▶ お客様の側に立つ
- ▶ 一つ一つ丁寧に、  
ベストなソリューションを提供

「住信ならではの」

- ▶ 「多様性」
- ▶ 「創造性」
- ▶ 「スピード」

## 住友信託銀行の幅広い業務内容

- ▶ 銀行業務に加え、年金・証券管理など信託業務や、仲介を中心とする不動産業務など幅広い業務
- ▶ 「銀行・信託・不動産兼営」の強みを活かし、「お客様に高い価値を提供する」

	銀行業務	信託業務			不動産業務
	<b>マーケット 資金事業</b> <b>394億円*</b>	<b>証券代行</b> <b>91億円*</b>	<b>年金 及び 投資マネージ</b> <b>213億円*</b>	<b>証券管理</b> <b>117億円*</b>	<b>270億円*</b>
<b>法人のお取引先</b>	- 商業銀行業務 - 投資銀行業務 (市場型与信) 貸付・年金・代行のい ずれかのお取引先社数 5,000社 <b>871億円*</b>	- 証券代行  管理会社数 (JTAS) 1,500社	- 機関投資家向 け運用 - 年金制度管理  運用資産 (住友信託) 25.2兆円	- カストディ 管理資産 (JTSB) 168.0兆円 - グローバル・ カストディ 管理資産 (米国住信) 19.7兆円	- 業務用仲介 - 不動産証券化 - J-REIT - 不動産投資顧問
<b>個人のお客様</b>	- 預金 - 投資信託、個人年 金保険 - 住宅ローン - プライベートバンク 預金・投信等のお取引 のある顧客数 2百万人 <b>296億円*</b>	管理株主数 (JTAS) 9百万人	- 投資信託 (運用)  運用資産 (STAM) 1.4兆円	- 投資信託 (管理)  管理資産 (住友信託) 18.3兆円	- 住宅仲介

平成19年3月末現在 JTAS:日本TAソリューション(株) STAM:住信アセットマネジメント(株) JTSB:日本トラスティ・サービス信託銀行(株)

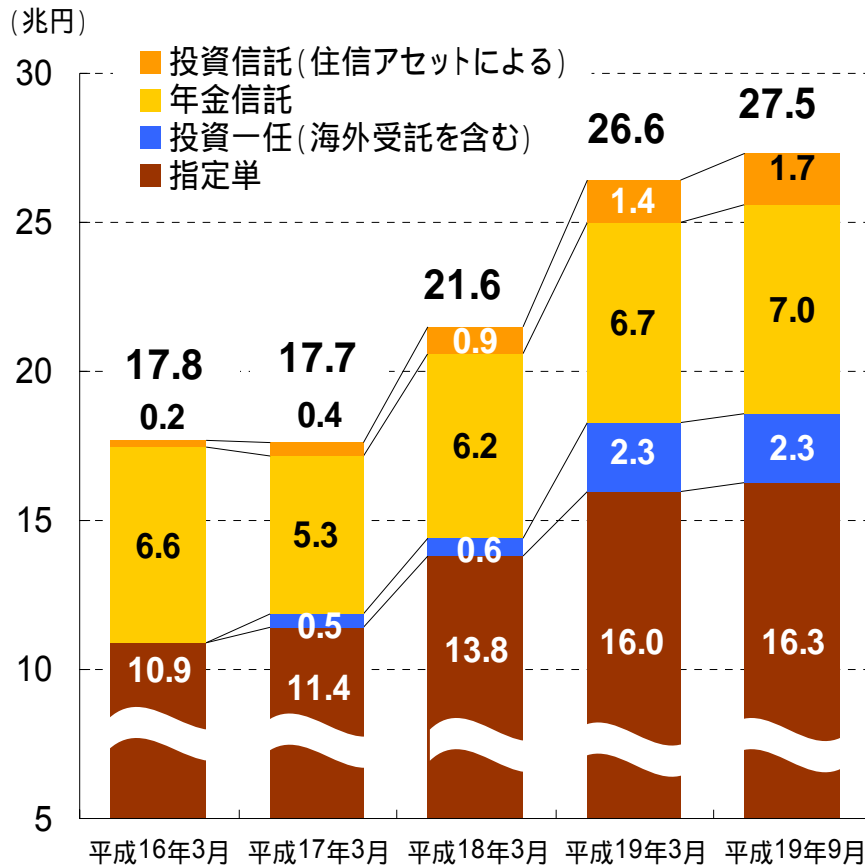
\*数字は、平成18年度連結実質業務純益(2,154億円)の事業毎の内訳。但し、資本調達・政策株式配当等の収支及び純粹本部のコストなど「その他」として計上しているものは除く。

## 信託・不動産業務の推移

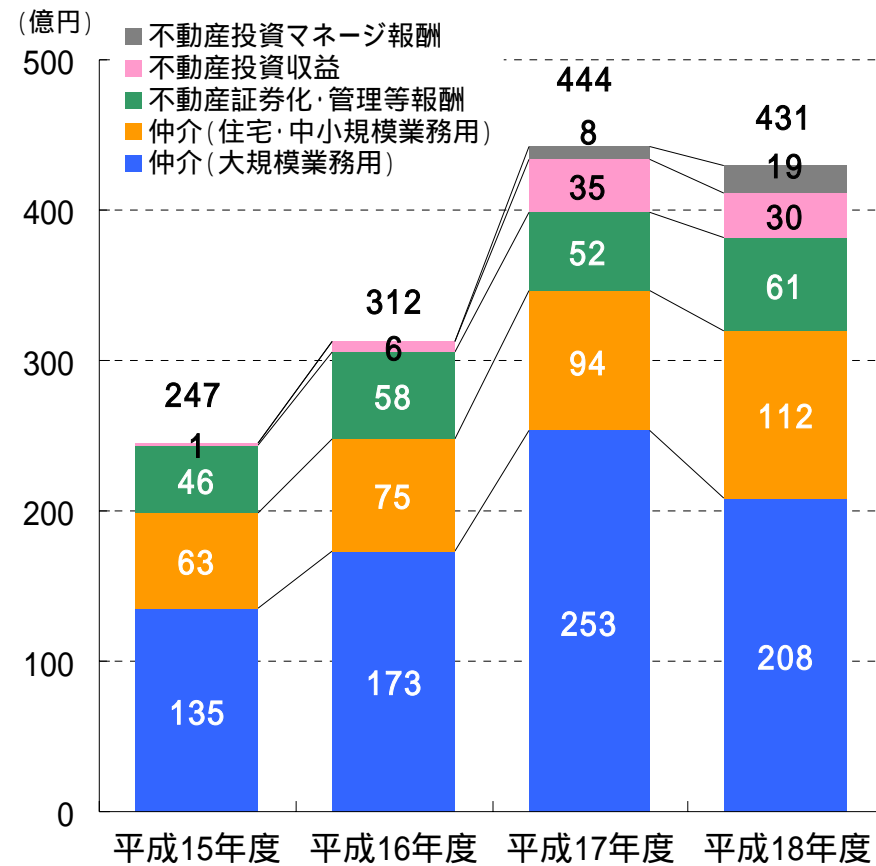
- ▶ 総運用資産残高27.5兆円の国内最大級の機関投資家
- ▶ 商業用仲介、住宅用仲介から、証券化、投資顧問業務など、不動産業務の収益多様化を実現

【運用資産残高推移】

\* 時価ベース  
\* 住信アセットマネジメント含む



【不動産業務粗利益の推移】



## M & A・提携戦略

### ▶ M & A・提携戦略の3類型

顧客基盤の拡大: 世代補完、地域補完

信託・不動産事業の強化: 機能の強化、規模の利益

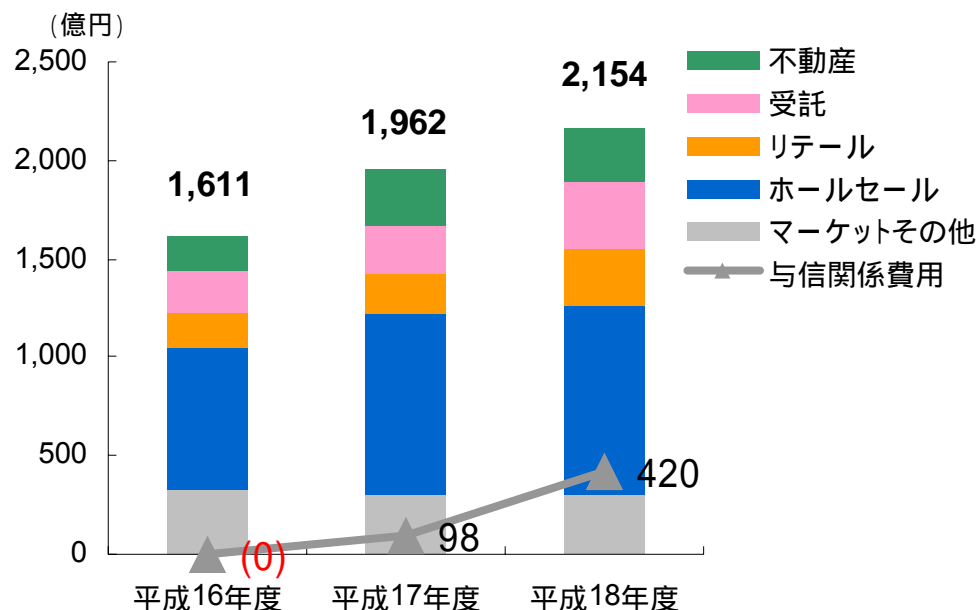
ファイナンス機能の強化: 中小・個人金融機能



## 収益状況

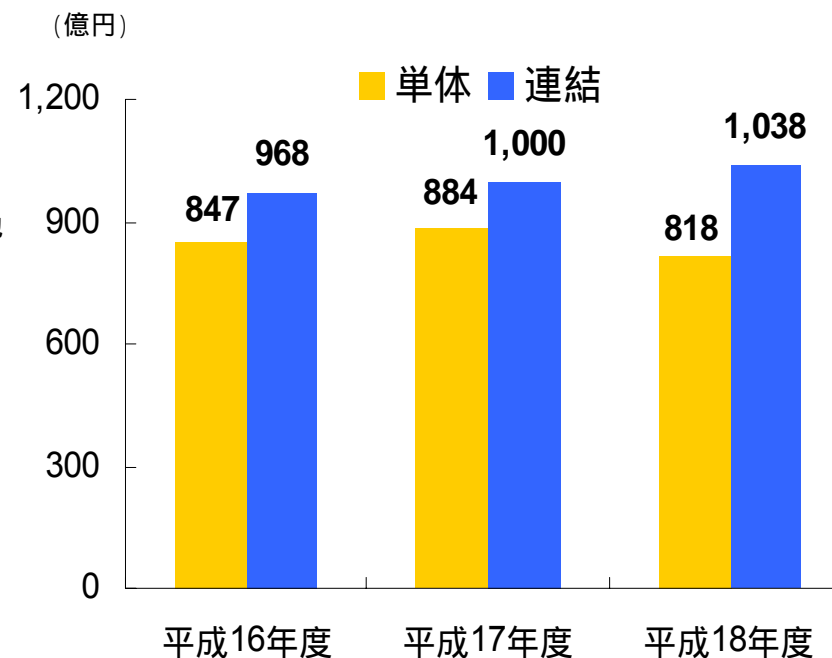
- ▶ 平成18年度は、「貯蓄から投資」を追い風に、リテール事業、受託事業が業績伸長、実質業務純益は前年度比10%増益
- ▶ 当期純利益については、一部業界向け貸出への引当金増加により前年比4%増にとどまるも、過去最高益更新の1,038億円

### ▶ 実質業務純益\*・与信関係費用(連結)



\* 実質業務純益：与信関係費用を除いた、収益実勢を表わす営業利益

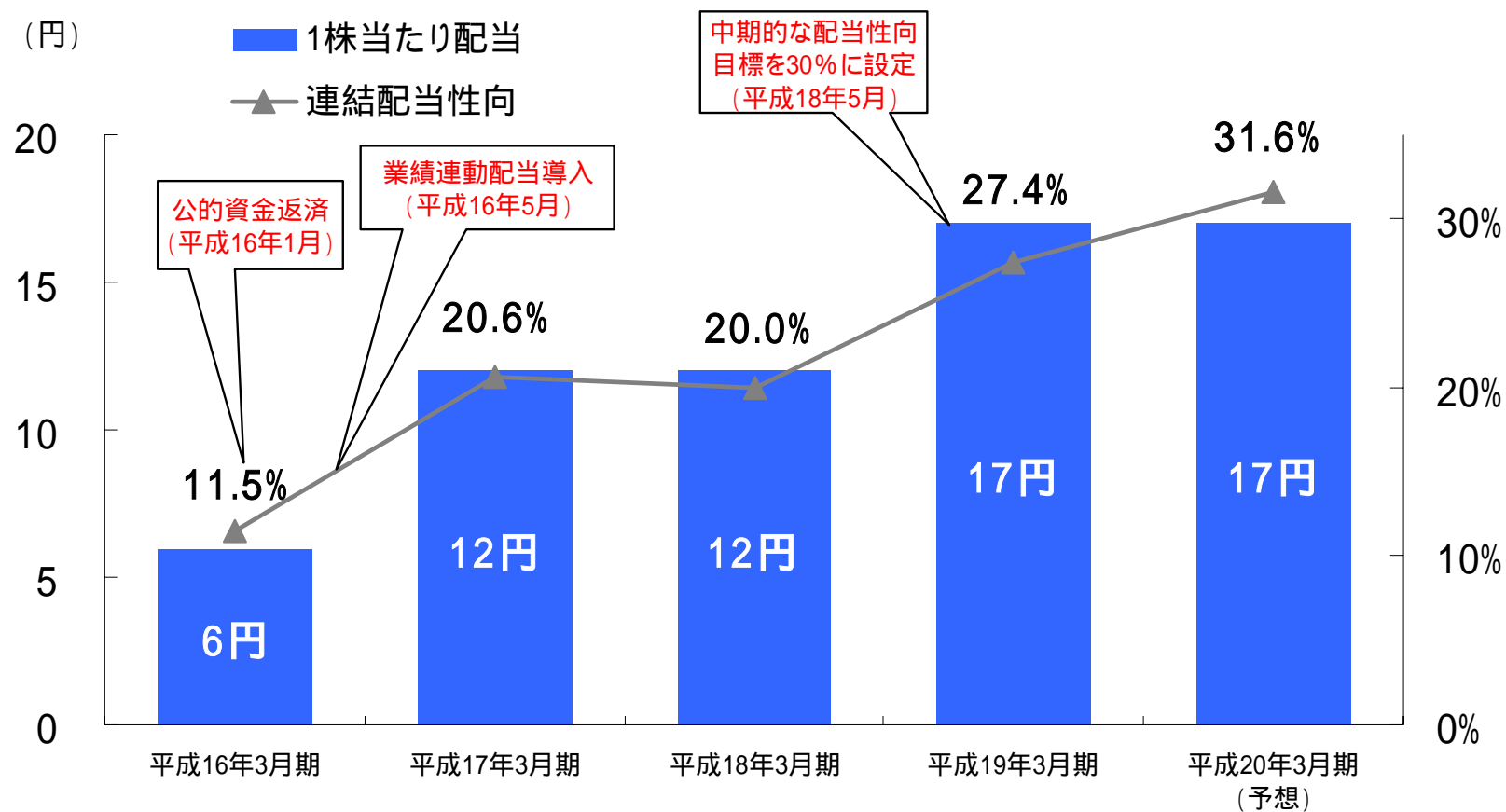
### ▶ 当期純利益(単体・連結)





## 株主重視の経営 ~ 透明性の高い株主還元策 ~

- ▶ 平成16年から業績連動配当導入済み
- ▶ 平成20年3月期の連結配当性向は30%程度の計画



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。